

# 令和5年度 生産性向上推進モデル事業

事例発表

『モニタリングと再計画の重要性』

済生会小田老人保健施設 ふじの園

## 済生会小田老人保健施設 ふじの園

〈入所定員〉 29床

〈通所リハビリ定員〉 15名

〈職員数〉 29名（常勤17名、パート他12名）

〈職員平均年齢〉 52歳

30代 3名

40代 11名

50代 8名

60代 5名

70代 1名

〈基本理念〉

最高（最幸）のケアと心のこもった行動を通じて、利用者の満足を追求し、安心安全で豊かな生活の実現に貢献します。

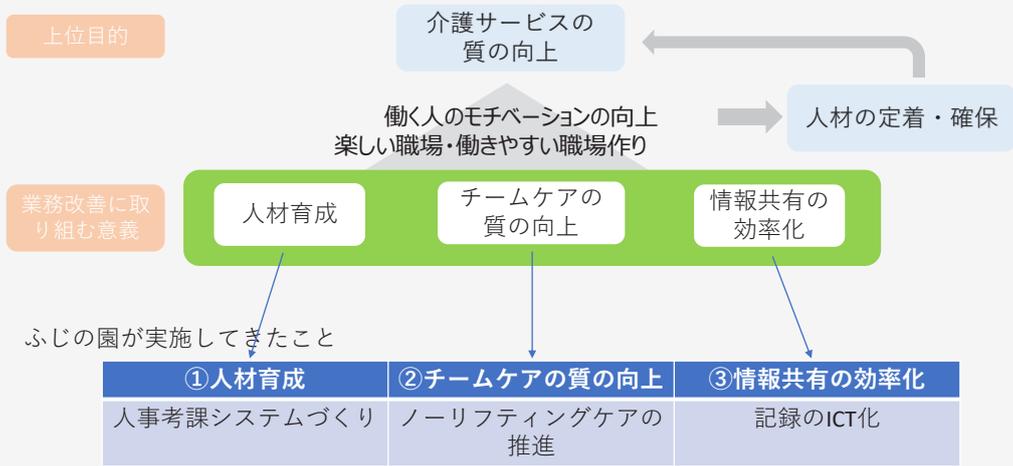


©済生会小田老人保健施設ふじの園

2

# 介護サービス事業における生産性向上の目的

ガイドラインとふじの園の取り組み



©済生会小田老人保健施設ふじの園

3

## ふじの園が実施してきたこと（令和4年度までの取り組み）

①人事考課システム作り	②ノーリフティングケアの推進	③介護記録のICT化
<p>H27.7 介護労働安定センター援助事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人事考課制度設計について、当施設にて個別指導を受ける</li> <li>全職員で「ふじの園に今必要とされる要素は何か」を考える</li> </ul> <p>ふじの園の現状 ふじの園の目標（あるべき姿）を書き出し20項目の評価基準を作成する</p> <p>H27.11より実施</p> <p>H27.12より個人面接の実施</p> <p>R1.5 評価基準を見直す（70項目として、職種により評価表をかえる）</p> <p>R2.12 評価基準を見直す（ノーリフティングケア推進項目等に改善）</p>	<p>R2.7 ノーリフティングケア推進モデル事業に選定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設内全職員対象の講習会（全3回実施）</li> <li>ノーリフティング推進委員会の設置</li> <li>外部講習会への参加</li> <li>福祉機器の購入（電動ベッド5台、跳ね上げ式車椅子、スライディングボード、スライディングシート、グローブ、走行式リフト）</li> </ul> <p>R3年度 福祉機器などの購入（低床ベッド2台内センサー付き1台、昇降式入浴台）</p> <p>R4年度 ノーリフティング推進協力事業に選定（R5年度も継続中）</p>	<p>R3.4 ICT委員会を設置</p> <p>R3.7 介護労働安定センターの「介護職場環境改善支援」による個別指導を受ける</p> <p>R3.9 職場環境に関するアンケートの実施</p> <p>R3.11 介護記録シフト選定検討委員会</p> <p>R4.2 R4システムについての勉強会</p> <p>R4.12 ICT機器設置、Wi-Fi設置工事</p> <p>R5.2 業者による講習会、新事業にフローへの移行</p> <p>R5.3 新業務への完全移行</p>

©済生会小田老人保健施設ふじの園

4

## 令和5年度 生産性向上推進事業モデル事業に選定後からの活動

- 1 生産性向上推進事業チームの組成  
既存の委員会（運営委員会・ノーリフティング推進委員会・ICT委員会）で組成する
- 2 意識づけ  
職員会にて令和5年度生産性向上推進モデル事業に選定されたことを発表し、現在までの活動をモニタリングしていき、新しい目標を設定するを伝える
- 3 生産性向上支援サポート事業 個別訪問指導を受ける  
生産性向上の進め方、職場環境改善項目について、テクノロジーの活用促進について
- 4 モニタリングのためのアンケート調査の実施  
職場環境改善アンケート、腰痛アンケート、ICT導入後のアンケート、ICT効果測定
- 5 職場改善方針シートを活用し令和4年までの過去の振り返りを行った

## 改善する課題

### 課題1) ①人材育成

モチベーションアップにつながる**人事考課システム作り**ができていない。

### 課題2) ②-(1)チームケアの質の向上

「**夜勤帯の職員の負担軽減について**」小規模施設で夜勤帯職員数が少なく 特に排泄介助に負担がかかっている。

### 課題3) ②-(2)チームケアの質の向上

「**ノーリフティングケア推進のための取組**」ノーリフティングケアの全職員に対する浸透が課題である。また、福祉用具を見直し、腰痛対策等改善していく必要がある。

### 課題4) ③情報共有の効率化

「**ICT化について**」施設内の介護記録はシステム化ができたが、情報を施設外で共有できない。例えば、担当者会議や他科受診の場で情報がとれない。

## 令和5年度 職場改善方針シート ①人材育成

課題1)			
改善する課題	・モチベーションアップにつながる人事考課システム作りができていない	課題分析	・職場環境アンケートを実施 ・ストレス増の原因として、評価制度の在り方について問題があるとする
改善活動案	・人事考課票を管理職と一般職で種類分けをする	担当者	・運営委員会
実施する改善活動	・運営委員会にて現在の人事評価表を改善していく	時期	・11月から
課題解決の取り組み優先度	・高い	検討内容	・12月に管理職と一般職別の人事評価票を用い、人事考課を行う ・半年ごとに評価票の見直しを行う

©済生会小田老人保健施設ふじの園

7

## モニタリング資料 課題1) ①人材育成

### 職場環境改善アンケートを実施

あなたは、現在働きやすいですか？



〈分析〉

- ・労働条件については、働きやすくなっている意見が多くなっている。
- ・人間関係、モチベーションが低下している回答が増えた。
- ・組織体制の中で、管理職に対する不満、ストレスがあった。

人事考課評価票の見直し

©済生会小田老人保健施設ふじの園

8

## 令和5年度 職場改善方針シート ②-(1)チームケアの質の向上

課題2)			
改善する課題	「夜勤帯の職員の負担軽減について」小規模施設で夜勤帯職員数が少なく特に排泄介助に負担がかかっている	課題分析	・ロボット使用頻度予想は、夜間帯日中トイレ介助者2名
改善活動案	・立位介助の介護ロボット(Hug)を導入する	担当者	・事務長 ・主任介護福祉士
実施する改善活動	・Hugを購入 ・Hugが使用できる環境改善 ・特にトイレ空間のスペース管理	時期	11月～1月
課題解決の取り組み優先度	・高い	検討内容	・トイレ環境のチェック ・Hugの取り扱い説明、マニュアル作り ・Hug対象者の選定 ・Hug導入、使用状況の撮影

©済生会小田老人保健施設ふじの園

9

## モニタリング資料 課題2) ②-1チームケアの質の向上

〈ハグ導入〉



〈トイレ・改修前〉



〈トイレ・改修後〉



職場環境改善アンケートより

- ・トイレが狭く介助が行いにくい。
- ・夜間（1人夜勤体制）十分なトイレ介助が行えない。



立位介助介護ロボットの導入  
トイレ改修工事

©済生会小田老人保健施設ふじの園

10

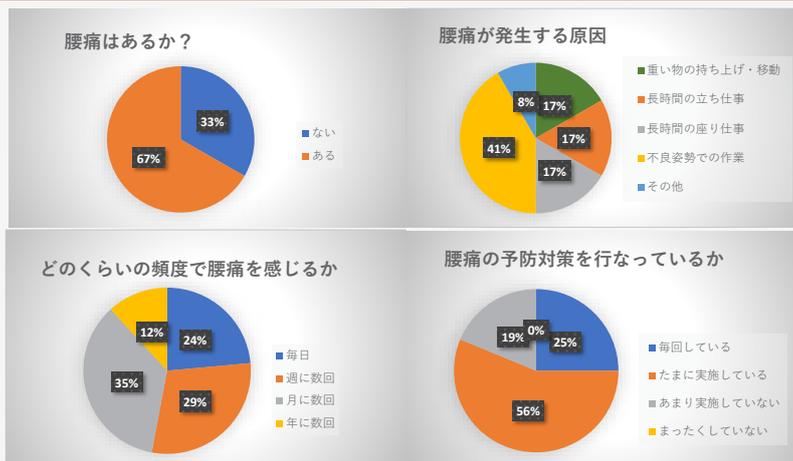
## 令和5年度 職場改善方針シート ②-(2)チームケアの質の向上

課題3)			
改善する課題	「 <b>ノーリフティングケア推進のための取組</b> 」ノーリフティングケアの全職員に対する浸透が課題である。また、福祉用具を見直し、腰痛対策等改善していく必要がある。	課題分析	・オムツ交換利用者数 14名 ・電動3モーターベッド 9台 ・手動式ベッド 23台
改善活動案	・ノーリフティングケア推進の勉強会を開催 ・腰痛に関するアンケートの実施 ・ベッド等福祉用具の更新	担当者	・主任介護福祉士
実施する改善活動	・ノーリフティング推進の勉強会を開催 ・腰痛に関するアンケートを実施 ・腰痛負担軽減のためベッド5台更新、スライドボード1台導入	時期	11月～1月
課題解決の取り組み優先度	・高い	検討内容	・浴室でのボード利用撮影 ・リクライニング車椅子発注 ・電動3モーターベッド5台搬入 ・電動3モーターベッド利用の撮影

11

©済生会小田老人保健施設ふじの園

## モニタリング資料 課題3) ②-2チームケアの質の向上



### 腰痛アンケートの実施 (R5.4)

- ・オムツ交換について、上下できないベッドでの交換は腰の負担がある。
- ・低床ベッドを増やしてほしい。

電動ベッドの増台  
スライドボード、リクライニング車椅子の導入

©済生会小田老人保健施設ふじの園

12

## 令和5年度 職場改善方針シート ③情報共有の効率化

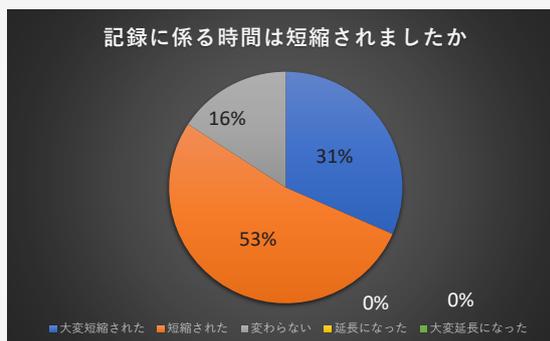
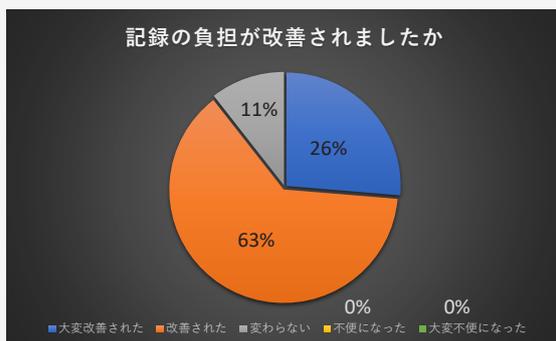
課題4)			
改善する課題	<b>「ICT化について」</b> 施設内の介護記録はシステム化ができたが、情報を施設外で共有できない。例えば、担当者会議や他科受診の場で情報がとれない。	課題分析	・施設外で介護記録を利用した頻度は、担当者会議や他科受診等で週に2～3回
改善活動案	・施設外で介護ソフトを利用する	担当者	・主任支援相談員
実施する改善活動	・施設外使用タブレットの購入	時期	10月から12月
課題解決の取り組み優先度	・高い	検討内容	・surfaceの管理 ・ポケットWi-Fiの準備 ・surface利用撮影 ・ICT化の調査

©済生会小田老人保健施設ふじの園

13

## モニタリング資料 課題4) ③情報共有の効率化

### ICT導入後のアンケート結果



不便と思ったことは何ですか？

- ・施設外で情報（カルテ）見たい場合、見ることができない。
- ・ノートパソコンが1台しかなく、入力したいときや何か作成をしたいときに不便を感じる。
- ・パソコン操作や手順など慣れるまでに時間がかかる。

©済生会小田老人保健施設ふじの園

14

## 課題を取り組んで良かった事、今後の目標

- ・今まで取り組んできたノーリフティング事業、ICT化事業などを一年を通して振り返ることができた。
- ・改めて、アンケートなどモニタリングを行うことで、各事業に対する職員のストレスに気付くことができた。
- ・福祉用具の活用など浸透していき、業務の効率化を図れたり、様々なことが改善されたりしていることが確認できた。
- ・職員の入れ替わりがあったり、配置換えがあったとしても、継続していく仕組み作りをしていきたい。
- ・平均年齢が52歳のふじの園。若い方に魅力を持って働ける職場環境作りを行うために努力を続けその様子を発信していきたい。

©済生会小田老人保健施設ふじの園

15

## おわり



©済生会小田老人保健施設ふじの園

16